



教員らによる児童生徒の盗撮問題とその対策状況を問う



「教育の信頼を揺るがす行為」 教員らのグループが生徒の盗撮動画をSNSで共有した事件

「教育の信頼を揺るがす行為」と教育現場に激震が走り対応に追われたと語る元校長先生の言葉。四街道市では教育長より全校の校長へ直接指導を行い、県通知、服務規程に沿った指導を教員へ徹底すること。また、校内巡回を複数名の教員で行い不審物がないかチェックを行っていますと対応策について答えていただきました。東京都では条件付きではあるものの教室へ監視カメラが設置されている学校もあります。子どもたちが安心して学べる環境を整えていけるように他市で実施されている対策に注目していきます。



スクールロイヤー制度

法律の専門家を学校へ



NPOによる教員アンケートでは相談内容のうちに9割が学校外で対応すべき内容と回答がありました。教育現場では業務に追われ生徒と向き合う時間が削られてしまっています。法律の専門家の助けを借り、負担軽減の一役を担えるのではないのでしょうか。

日本の10代の死因1位は自死

子どもたちの精神的幸福について



ユニセフの調査で日本の子どもの精神的幸福度が36か国中32位と低いという結果が出ています。幸福度調査を政策に取り入れている荒川区の例を参考に、当市でも子どもの精神的幸福度向上に向けた取り組みを推進します。未来を担う子どもたちが笑顔で過ごせるよう、市民の皆様と共に支えあう街を目指します。

「期日前投票は危険」ってホント？

ネットの噂を解説します！！



「期日前投票用紙が書き換えられるらしい」「鉛筆じゃなくてボールペンを持っていった方がいい」—。そんなウワサをSNSで見かけた方もいるかもしれません。これは根拠のないフェイクニュースです。期日前投票は、皆さんの大切な一票が守られるよう、厳正なルールに基づいて行われています。たとえば、投票用紙や投票箱は時間外には二重に施錠された金庫のような場所で厳重に管理されます。投票所には常に複数の立会人がいて、不正がないかチェックしています。皆さんが投じた一票は、責任を持って開票まで大切に保管されます。惑わされることなく、自信を持って期日前投票にご参加ください。

戦後80年—核兵器のない未来へ

日本は核武装すべきか、山本幡男さんの遺書から考える



ロシア(旧ソ連)の強制収容施設で亡くなられた山本幡男さんは、家族への遺書にこう綴りました。「どこまでも真面目な、人道に基づく自由、博愛、幸福、正義の道を進んで呉れ」「最後に勝つものは道義であり、誠であり、まごころである」

7月の参議院議員選挙では「核武装する方が安上がり」という発言が、ある候補者より聞かれました。しかし、核という究極の暴力は、山本さんが示した「道義」や「まごころ」とは真逆のものです。私たちは、彼の言葉が示すように、暴力ではなく、誠実な対話と人道に基づいた歩みこそが、真の平和を生み出すと信じます。



← 9月議会 一般質問の録画動画視聴には期限がございます。お早めにご覧ください。



飯豊あきひさ



市役所の開庁時間が変わります

令和7年10月1日より、市役所の開庁時間を午前9時から午後4時30分に変更します。

市民の皆様にはご不便をおかけしますが、働き方を見直し、業務にゆとりを持たせることで、市民サービスのさらなる向上と職員の残業時間縮減に努めます。ご理解とご協力をお願いいたします。詳細は市のホームページをご覧ください。



開庁時間の変更について質疑から

- ・ 質の向上：これまでの残業ありきの業務を見直し、職員が始業時間内に準備を終えられるようにすることで、質の高い市民サービスを提供します。
- ・ 来庁データの分析：市民の来庁データによると、申請の多くは午前9時から午後4時に集中しており、16時以降は全体の1割程度です。また、住民票や印鑑証明などはコンビニ交付の利用が進んでいます。
- ・ 成果と効果の検証：変更後の残業時間縮減や人件費削減、新たな事業など、具体的な成果については、今後も議会で詳細な報告を求めています。

四街道総合公園 自動販売機を狙った被害が発生

四街道総合公園の自動販売機が、1か月の間に2度も破壊され、金銭が盗まれる被害が起きました。夜間には人通りが少なく、近隣は通学路も面しています。昨年は闇バイトが市内で発生しました。小さな犯罪を見逃さないことが、大きな犯罪を防ぐ予防線となります。市には再発防止策を求めるとともに、地域の防犯パトロール強化を呼びかけてまいります。



破壊された2台の自動販売機

あなたの周りにも？

ナガエツルノゲイトウにご注意ください

県内で猛威を振るう特定外来生物「ナガエツルノゲイトウ」が、市内の水路でも見つかりました。わずかな茎や根からでも再生するほど恐ろしい繁殖力で、生態系を大きく破壊する恐れがあります。皆さんの身近な水辺で見かけた際には、絶対に持ち帰らず、速やかに市役所にご連絡ください。市には、さらなる拡散を防ぐための早期対策を求めました。



私たちの税金はどう使われた？

令和6年度決算から見えてきたこと

①市民全体の負担を減らすために

市民の税金や使用料の未収金である「不納欠損額」が、ここ3年間で約3,200万円から約5,600万円へと増加しています。この原因は、固定資産税や市民税の滞納が増えていることです。不納欠損額が増えると、本来入るはずの収入がなくなり、行政サービスの低下を招く恐れがあります。そこで、市に対し、滞納者への適切な指導と徴収を強く求めました。今後も公平・公正な市政運営を目指し、監視を続けていきます。

②物価高騰対策支援策

市は国からの交付金や補助金を活用し、市民生活を支援する5つの事業を実施しました。特に、物価高騰に直面する市民を支えるため、キャッシュレス決済でのポイント還元支援をすべての市民を対象に行いました。また、子育て世帯への学校給食費支援や、年金生活者・非課税世帯への支援も行い、厳しい生活を送る方々に寄り添った対策を進めています。

③給付にかかる事務経費はいくらか？

市が実施した3つの給付金事業で、総額889万円の事務経費がかかりました。内訳を見ると、1世帯あたりにかかった事務経費は、低所得者世帯支援事業で2,943円、住民税非課税世帯への支援で532円、住民税均等割のみ課税世帯への支援で789円でした。この結果、3つの支援事業を合わせると、給付金を配るために4,264円の経費がかかっている計算になります。事務作業が職員の負担を増やし、多額の経費もかかる現状を指摘し、そもそも税金の徴収方法から見直すべきではないかと提案しました。また、給付金の対象とならない世帯も物価高で苦しんでいる現状を伝え、より多くの市民を支援する必要性を訴えました。

皆さんの声をお聞かせください
市政に関するお悩みやご相談を直接伺っています

今年の夏は猛暑が続き、草木に関する相談が多く寄せられました。見通しの悪い道路でカーブミラーを隠す枝木や、歩行者を覆い隠すほど生い茂った歩道の草について、市に対応を求め無事に解決しました。ご指摘いただいた禁止されているお祭りにおける政治家の寄付行為についても議会で取り上げました。これからも皆さんの声に耳を傾けてまいります。いつでもご相談ください。

